



桑園におけるアメリカシロヒトリの発生について

注意喚起

日頃から国内蚕糸絹業の振興に多大なる御尽力を賜り御礼申し上げます。

関東地方の複数地域の桑園において、春蚕期からアメリカシロヒトリの発生が確認されたとの情報がありました。

ついては、以下の点に御留意の上、被害防止対策の徹底をお願いします。

1. アメリカシロヒトリによる桑園被害

この害虫は、食性が広くサクラなどの街路樹を食害することでも知られていますが、桑園においても多々見受けられ、油断すると幼虫が分散して桑葉を食害し収穫が皆無になる場合があります。(写真1)

2. アメリカシロヒトリの生態と加害習性

成虫は体長約 15mm の白色の蛾で、通常年2回（5月～6月頃と7月下旬～9月中旬）発生し、葉の裏に産卵します。

産卵後ふ化した幼虫は巣網（写真2）を作り、中齢まで集団で移動しながら食害します。

3. 巣網の早期発見と捕殺の徹底

体巣網の中で群棲して加害している若齢幼虫期の巣網の早期発見による捕殺が、現時点で取り得る対策であることから、桑園の見回りを徹底して巣網がないかを確認し、巣網があれば巣ごと枝葉を切り取り捕殺するようお願いします。



【写真1】アメリカシロヒトリによる桑の食害



【写真2】若齢幼虫による巣網の形成状況